

平成21年3月期 第2四半期決算短信

平成20年11月6日

上場会社名 株式会社 メガネトップ
 コード番号 7541 URL <http://www.meganetop.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 富澤 昌三
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 寺澤 章
 四半期報告書提出予定日 平成20年11月12日 配当支払開始予定日 平成20年12月9日

上場取引所 東

TEL 054-275-5000

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第2四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第2四半期	22,704	—	2,024	—	2,089	—	1,064	—
20年3月期第2四半期	20,203	22.7	130	△91.0	133	△90.6	△420	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第2四半期	45.79	45.71
20年3月期第2四半期	△22.11	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第2四半期	26,352	10,716	40.7	460.06
20年3月期	26,268	9,712	37.0	503.39

(参考) 自己資本 21年3月期第2四半期 10,716百万円 20年3月期 9,712百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
21年3月期	—	26.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	6.00	32.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 有

平成21年3月期第2四半期配当の内訳 普通配当 6円00銭 記念配当 20円00銭

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,500	8.1	4,200	59.0	4,200	66.9	2,290	160.9	98.54

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

【注】詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。】

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

【注】詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。】

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第2四半期	23,324,676株	20年3月期	19,313,230株
② 期末自己株式数	21年3月期第2四半期	30,322株	20年3月期	18,705株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年3月期第2四半期	23,239,905株	20年3月期第2四半期	19,027,319株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(四半期財務諸表に関する会計基準について)

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。)に基づいて作成しております。なお、当第2四半期連結会計期間(平成20年7月1日から平成20年9月30日まで)については、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成20年8月7日内閣府令第50号)附則第7条第1項第5号ただし書きにより、改正後の四半期連結財務諸表規則に基づいて作成しております。

(株式の分割について)

平成20年3月31日現在の株主名簿および実質株主名簿に記載または記録された株主に対し、平成20年4月1日付で、その所有する株式1株を1.2株に分割しました。その結果、発行済株式総数は分割前の19,313,230株から、分割後は23,175,876株となりました。当該分割が前連結会計年度の開始日(平成19年4月1日)に行われたと仮定した場合の、前年第1四半期及び前連結会計年度における1株当たり情報は以下のとおりです。

	20年3月期第2四半期	20年3月期
1株当たり四半期(当期)純利益	△18円30銭	38円17銭
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	—	38円01銭
1株当たり純資産	368円81銭	419円49銭

(参考)

平成21年3月期の個別業績予想 (平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
通期	百万円 % 44,700 (8.1)	百万円 % 4,100 (60.0)	百万円 % 4,100 (66.7)	百万円 % 2,210 (177.7)	円 銭 95 10

(注) 個別業績予想数値の当四半期における修正の有無 : 有

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出・設備投資は弱含み、生産、企業収益は減少するなど景気回復は弱含んでおり、個人消費は概ね横ばいで推移しているものの、消費者マインドは悪化しております。眼鏡業界においても、激しい企業間競争により厳しい状況が続いております。

このような環境のなか、当社グループは、前年度に引き続きオールインワンプライスショップ「眼鏡市場」の店舗網拡充を図り顧客の利便性向上に努めるとともに、TVCMによる認知度・集客力の強化を図りました。さらに商品面・人材面の強化を図りお客様の支持獲得に努めました。この結果、売上高は22,704百万円（前年同期比12.4%増）となりました。

利益面につきましては、前年同期と比較し、売上総利益率が2.0ポイント改善し、また新規出店（前年65店舗、本年29店舗）・業態転換（前年220店舗、本年1店舗）などに伴う経費の増加が軽微であったため、売上高販管費比率は6.3ポイント改善しました。

この結果、営業利益2,024百万円（前年同期は130百万円）、経常利益2,089百万円（前年同期は133百万円）、四半期純利益1,064百万円（前年同期は420百万円の損失）となりました。

なお、前年同期増減率及び前年同期の金額につきましては、参考として記載しております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 流動資産

流動資産の残高は7,407百万円（前連結会計年度末は7,079百万円）で、328百万円の増加となっております。現金及び預金の減少（457百万円）、商品及び製品の増加（577百万円）が主な要因であります。

(2) 固定資産

固定資産の残高は18,945百万円（前連結会計年度末は19,188百万円）で、243百万円の減少となっております。無形固定資産の減少（145百万円）が主な要因であります。

(3) 流動負債

流動負債の残高は9,190百万円（前連結会計年度末は8,890百万円）で、300百万円の増加となっております。支払手形及び買掛金の増加（211百万円）、未払法人税等の増加（114百万円）が主な要因であります。

(4) 固定負債

固定負債の残高は6,445百万円（前連結会計年度末は7,665百万円）で、1,220百万円の減少となっております。社債の増加（202百万円）、長期借入金の減少（1,419百万円）が主な要因であります。

(5) 純資産

純資産の残高は10,716百万円（前連結会計年度末は9,712百万円）で、1,004百万円の増加となっております。資本金の増加（31百万円）、資本剰余金の増加（31百万円）、利益剰余金の増加（948百万円）が主な要因であります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期累計期間の連結業績は、売上高につきましては、新設店舗の計画未達等により予想を下回りました。利益につきましては、販売費及び一般管理費を計画内に収めたことにより予想を上回りました。

通期の連結業績は、新設店舗の計画見直し等により、売上高につきましては、当初の予想を下回る見通しであります。利益につきましては、第2四半期累計期間の業績が期初予想を上回ったことから、下期減収による利益額の減少を補って、営業利益及び経常利益は微増となる見通しであります。当期純利益の変更はありません。

なお、配当予想を修正しております。本日平成20年11月6日公表の「剰余金の配当（普通配当及び第30期記念配当）に関するお知らせ」をご覧ください。

平成20年5月15日公表の通期の連結・個別業績予想との差異は以下のとおりです。

(1) 平成21年3月期連結業績予想

通期（平成20年4月1日～平成21年3月31日）

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円)
前回発表予想 (A)	45,900	4,140	4,100	2,290	98.91
今回修正予想 (B)	45,500	4,200	4,200	2,290	98.54
増減額 (B-A)	△400	60	100	-	-
増減率 (%)	△0.9	1.4	2.4	-	-
(参考) 前期実績	42,099	2,641	2,516	877	45.80

(2) 平成21年3月期個別業績予想

通期（平成20年4月1日～平成21年3月31日）

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円)
前回発表予想 (A)	45,110	4,030	4,020	2,210	95.45
今回修正予想 (B)	44,700	4,100	4,100	2,210	95.10
増減額 (B-A)	△410	70	80	-	-
増減率 (%)	△0.9	1.7	2.0	-	-
(参考) 前期実績	41,366	2,563	2,459	795	41.54

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。)に基づいて作成しております。なお、当第2四半期連結会計期間(平成20年7月1日から平成20年9月30日まで)については、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成20年8月7日内閣府令第50号)附則第7条第1項第5号ただし書きにより、改正後の四半期連結財務諸表規則に基づいて作成しております。

・ たな卸資産

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、移動平均法による原価法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、移動平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。

これにより、税金等調整前四半期純利益が92百万円減少しております。

5. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結財務諸表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	889,054	1,346,503
受取手形及び売掛金	995,326	843,633
商品及び製品	4,066,161	3,488,802
仕掛品	98,538	95,036
原材料及び貯蔵品	71,813	92,407
その他	1,293,121	1,216,078
貸倒引当金	△6,328	△2,955
流動資産合計	7,407,686	7,079,506
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,674,851	7,621,673
その他(純額)	2,852,828	2,953,790
有形固定資産合計	10,527,679	10,575,464
無形固定資産		
のれん	115,793	151,570
その他	507,282	616,911
無形固定資産合計	623,076	768,482
投資その他の資産		
敷金及び保証金	6,927,913	6,987,088
その他	876,743	861,720
貸倒引当金	△10,407	△3,907
投資その他の資産合計	7,794,248	7,844,901
固定資産合計	18,945,004	19,188,848
資産合計	26,352,691	26,268,354

(単位:千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,282,520	1,070,655
短期借入金	3,603,503	3,747,366
未払法人税等	961,184	846,795
賞与引当金	527,397	496,698
役員賞与引当金	12,000	24,000
その他	2,803,906	2,704,579
流動負債合計	9,190,511	8,890,094
固定負債		
社債	997,500	795,000
長期借入金	4,786,542	6,205,987
役員退職慰労引当金	286,914	271,391
その他	374,510	393,286
固定負債合計	6,445,466	7,665,665
負債合計	15,635,978	16,555,760
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,335,679	2,303,869
資本剰余金	2,768,368	2,736,632
利益剰余金	5,614,419	4,666,083
自己株式	△22,186	△13,154
株主資本合計	10,696,280	9,693,430
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	20,432	19,163
評価・換算差額等合計	20,432	19,163
純資産合計	10,716,712	9,712,594
負債純資産合計	26,352,691	26,268,354

(2) 四半期連結損益計算書

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
売上高	22,704,917
売上原価	7,372,920
売上総利益	15,331,996
販売費及び一般管理費	
給料及び手当	4,509,470
貸倒引当金繰入額	9,373
賞与引当金繰入額	518,404
役員賞与引当金繰入額	12,000
役員退職慰労引当金繰入額	22,135
その他	8,235,749
販売費及び一般管理費合計	13,307,132
営業利益	2,024,863
営業外収益	
受取利息	17,354
受取配当金	594
受取賃貸料	192,499
その他	91,853
営業外収益合計	302,301
営業外費用	
支払利息	90,045
賃貸収入原価	126,032
その他	21,200
営業外費用合計	237,279
経常利益	2,089,885
特別利益	
固定資産売却益	473
受取補償金	114,121
特別利益合計	114,594
特別損失	
減損損失	60,260
たな卸資産評価損	92,635
その他	67,356
特別損失合計	220,252
税金等調整前四半期純利益	1,984,227
法人税、住民税及び事業税	919,966
法人税等調整額	157
法人税等合計	920,124
四半期純利益	1,064,103

注記事項

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。)に基づいて作成しております。なお、当第2四半期連結会計期間(平成20年7月1日から平成20年9月30日まで)については、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成20年8月7日内閣府令第50号)附則第7条第1項第5号ただし書きにより、改正後の四半期連結財務諸表規則に基づいて作成しております。

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

当社グループの主たる事業は、眼鏡等の生産・販売であり、当該事業の売上高及び営業利益の金額は、全セグメントの売上高の合計及び営業利益の金額の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

【事業の種類別セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

(要約) 前中間連結損益計算書

(単位：千円)

区分	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)		百分比 (%)
	金額(千円)		
I 売上高		20,203,973	100.0
II 売上原価		6,965,368	34.5
売上総利益		13,238,605	65.5
III 販売費及び一般管理費			
1 販売手数料	440,794		
2 広告宣伝費	1,573,491		
3 貸倒引当金繰入額	2,538		
4 役員報酬	87,496		
5 給料・手当	4,039,901		
6 賞与引当金繰入額	480,860		
7 役員賞与引当金繰入額	12,000		
8 退職給付費用	97,743		
9 役員退職慰労引当金繰入額	7,865		
10 福利厚生費	732,949		
11 賃借料	2,197,434		
12 減価償却費	546,646		
13 水道光熱費	267,927		
14 その他	2,620,357	13,108,004	64.9
営業利益		130,600	0.6
IV 営業外収益			
1 受取利息	15,678		
2 受取賃貸料	195,651		
3 その他の営業外収益	68,866	280,196	1.4
V 営業外費用			
1 支払利息	103,959		
2 賃貸収入原価	124,311		
3 その他の営業外費用	49,508	277,779	1.3
経常利益		133,017	0.7
VI 特別利益			
1 貸倒引当金戻入益	—		
2 その他の特別利益	—	—	—
VII 特別損失			
1 固定資産売却損	38,948		
2 固定資産除却損	158,516		
3 減損損失	111,399		
4 役員退職金	—		
5 過年度役員退職慰労引当金繰入額	222,018		
6 その他の特別損失	—	530,882	2.7
税金等調整前中間純損失(△)		△397,865	△2.0
法人税、住民税及び事業税	76,037		
法人税等調整額	△53,191	22,845	0.1
中間純損失(△)		△420,710	△2.1